

日銀のETF買い最新動向

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

■ 昨年はトーンダウンした日銀買い

日経平均の下落局面で期待したいのが、日銀によるETF買いである。日銀によるETF買いだが、実は昨年は4月以降からそれまでの積極的な買い入れ姿勢に大きな変化がみられ、4月21日に701億円、6月21日に701億円、9月29日に701億円、10月1日に701億円、4月から12月の9ヵ月間では合計4回、金額にして2804億円に留まるなどトーンダウンしていた。昨年の日銀買いは、株式市場に与える影響は極めて限定的であったといえる。日銀による買い入れが株式市場にひずみを与えたとの批判を考慮した動きであったと思われる。

■ 積極的ではないが動きがみられる

今年に入ってから、1月14日に701億円、1月25日に701億円、2月14日に701億円と過去2ヵ月間で既に3回、金額にして2103億円を買い付けるなど、積極的ではないが動きがみられる。日銀にとって、現状水準にある日経平均は買い入れが行いやすい水準であるといえよう。不透明要因の高まりによって日経平均が急落した際には日銀によるETF買いに期待したいところである。

東京市場マーケットデータ

2022/3/2 現在

日経平均	2万6393円
東証1部売買代金	3兆1119億円
時価総額	679兆2530億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.3%

出所: Quickk

日経平均パフォーマンス

昨年来高値	3万795円	2021年9月14日
昨年来安値	2万5775円	2022年2月24日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/3/2 現在

株価前日比

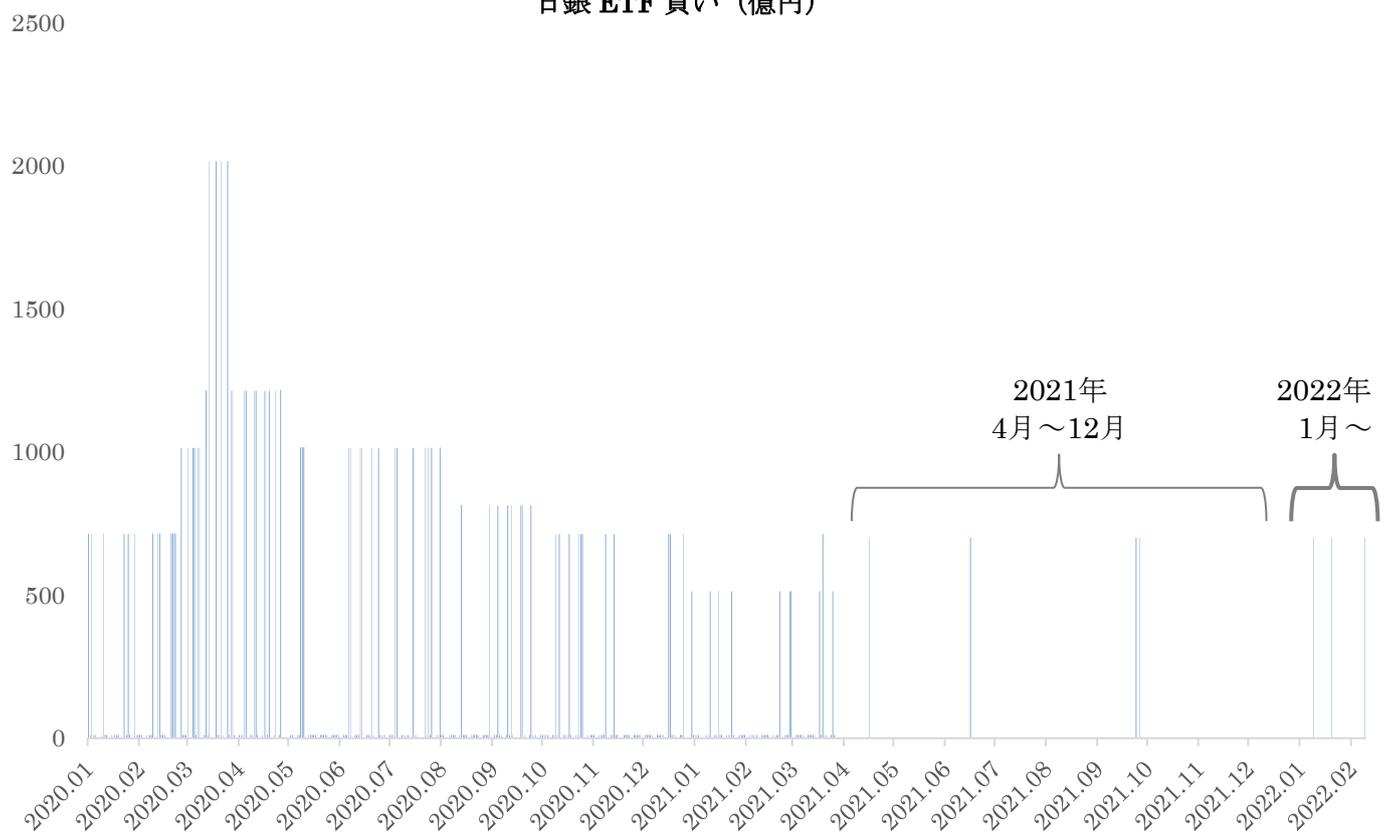
1 レーザーテック	▼2.9%
2 日本郵船	1.7%
3 トヨタ	▼4.4%
4 商船三井	▼0.1%
5 ソフトバンクグループ	0.6%
6 東京エレクトロン	▼1.9%
7 三菱UFJFG	▼2.7%
8 川崎汽船	▼0.9%
9 INPEX	7.6%
10 任天堂	0.2%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



日銀ETF買い（億円）



出所: Quick

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

